

初のアメリカツアー決定!!

© 2025. 1/4 - 5

会場：BLACK BOX THEATER/PS21:Center for Contemporary Performance/NY, USA

© 2025. 1/10 - 11 ジャパン・ソサエティ招聘公演「Contemporary Dance Festival: Japan + East Asia」

会場：Lila Acheson Wallace Auditorium/Japan Society/NYC, USA

Co.Ruri Mito ダブルビル

東京公演 2024. 12/25-26

すみだパーク ギャラリー ささや



Where we were born
Matou



Where we were born (2025NY公演 - version)

この作品は、個と群との関係性をテーマにし、「自分の身体はどこからどこまでか」という問いを通じて、生命の根源に迫ろうとするものです。曖昧な身体境界線を描きながら、個の消滅や集結がどのように解釈されるかは、観る人の想像に委ねられています。私たちの存在やその相互作用を深く探求する試みです。

2022年以降の再演となる本公演には、カンパニー創設以来のメンバーであり、三東の繊細な表現を最も理解している橋本玲奈をはじめ、児玉彩愛、柴田真梨子、モテギミユといったカンパニー作品に出演経験のあるダンサーが参加します。また、三東と共演経験を持つ高橋真帆、牧野李砂、さらには舞台経験豊富な池上楓子、佐々木実紀を迎えます。「日本代表」としてふさわしいメンバーと、2025年1月に行われるNYC公演バージョンとして、作品を再構築します。

2020年シアタートラム（東京）にて初演

2021年盛岡公演

〔受賞歴〕2020年文化庁芸術祭新人賞

出演：池上楓子 児玉彩愛 佐々木実紀 柴田真梨子
高橋真帆 橋本玲奈 牧野李砂 モテギミユ

振付・構成：三東瑠璃

音楽：中島千絵 テキスタイルモチーフ：亀井佐知子

アンダースタディ：阪田小波

協力：安心院かな 斉藤稚紗冬

Matou (original-version)

それは「着る、かぶる、絡まる、巻き上げる」のような直接的な意味を持ちます。

装うは、比喩的によく使われる言葉です。私は私の体を纏っています。私は生涯にわたって私の体のすべてを見ることができません。私の体を構成する組織は更新され続け、いつか消えてしまいます。中身のない体は残らず、体のない中身はどこに行くのですか？

それは存在し続けますか？ヘビやセミのように、彼らの外層の大部分は一度に剥がれ落ち更新されます。残っているものは死体ではありませんが、それはまだ動物の完全な形をしており、生きていません。これは生きていた証なのでしょうか？私が生きていた証は存在するのでしょうか？

「まとう」は、「待っていたい」のようにも聞こえます。私は私の死を待っているのかもしれませんが。

「つきまとう」は、いつも私についてまわり、死ぬまでいつまでも離れず、絡みついています。

「そうまとう」は、様々なビジョンが脳裏に現れては過ぎ去っていきます。死を覚悟した瞬間に去来するといわれる目眩く過去の記憶についてです。「まとう」は、「完了する」ことを意味します。

私は人生を全うします。

2015年神楽坂セッションハウスにて初演

2016年以降、国内（青森、岩手、秋田、宮城、東京）、海外（チェコ、フィンランド、フランス、ポーランド、リトアニア、ブルガリア、台湾 他）にて上演

〔受賞歴〕

2016年ソウルインターナショナルコレオグラフィフェスティバル 国際審査員賞受賞（ソウル / 韓国）

2017年グダンスクソロダンスコンテスト1位（グダンスク / ポーランド）

2017年土方巽記念賞受賞（秋田）

2018年M1ダンスコンテスト MASDANZA 賞受賞（シンガポール）

振付・出演：三東瑠璃

音楽：熊地勇太

助成 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [東京芸術文化創造発信助成]
芸術文化振興基金助成事業（東京公演）
国際交流基金（アメリカツアー）

協力 | 公益財団法人セゾン文化財団



日程

2024年

12/25 [水]

12/26 [木]

各日 19:00 開演

※受付は開演時間の30分前

上演時間 約60分 ※休憩なし

会場 すみだパーク
ギャラリーささや

（東京都墨田区横川 1-1-10）

JR 総武線 / 錦糸町駅（北口）より徒歩 15 分

都営浅草線 / 本所吾妻橋駅（A2 出口）より徒歩 13 分

都営浅草線・京成線 / 押上駅（A2 出口）より徒歩 14 分

半蔵門線・東武線 / 押上駅（B2 出口）より徒歩 15 分

※半蔵門線・東武線からは A2 出口には出られません。

東武伊勢崎線 / とうきょうスカイツリー駅より徒歩 12 分

※カフェ・ギャラリーの駐車場はございません。

券種	一般	U25*	中・高校生*
単券	4,000 円	3,000 円	1,000 円
単券＋ 公開リハーサル	5,500 円	4,500 円	2,000 円
2日セット券	7,500 円	5,500 円	2,000 円
2日セット券＋ 公開リハーサル	9,000 円	7,000 円	3,000 円
親子セット券	4,000 円	（小学生以下同伴無料）	
カンパニー 応援チケット！	10,000 円	（2日セット券＋公開リハーサル ＋寄付金）	
行けないけど 応援チケット！	2,000 円～	（Peatix のみ受付）	
公開稽古	2,000 円	（11/22・12/9 に開催）	

※ U25（25 歳以下）・中・高校生のチケットご購入の方は当日
年齢の分かる身分証明書をお持ちください。

お申込み |

Google フォーム（当日現金精算）

<https://forms.gle/CXzX5rKnzdFkmBbZA>



Google フォーム

Peatix（事前支払い／前日締切）

<https://corurimito-doublebill2024.peatix.com>

※クレジットカード各種・コンビニ払い可

※応援チケットのご用意あります。



Peatix

衣裳 | 稲村朋子

舞台監督 | 筒井昭善

制作 | 滝沢優子

記録写真 | マトロン

照明 | 櫛田晃代

音響 | 福岡功訓（Flysound Co.）

WEB | Léna Pont

記録映像 | matronFILM

〔チラシ表面クレジット〕

Where we were born イラスト © 亀井佐知子

Matou ©one dance week

主催 | Co.Ruri Mito <https://rurimito.com/>

お問合せ | contact@rurimito.com